

# 平成25年度 上越市総合学習部活動報告

部長 佐藤真市（高志小学校）

## 1 研究主題 探究的な学習・協同的な学習の充実を目指した総合的な学習のあり方

総合的な学習の時間の課題は、「探究的な学習」「協同的な学習」の充実である。今年度は、探究的・協同的な学習の充実に向けた単元構想や地域連携の具体例に触れ、自校の総合的な学習の実践に生かすことを主題とした。

## 2 研究の概要

当部会は小・中学校の教員で構成されており、今年度は11月13日に牧中学校で行われた総合的な学習の時間研究発表会に参加し研修を行った。中学校の総合学習を小中学校教員が一同に参観・協議することにより、小中学校の連携を深め、互いの授業力の向上を図ることをねらいとした。

## 3 研究の実際

牧中学校では、身近な地域や社会における課題を題材に、その課題解決や探究の過程において、思考力・判断力・表現力を育成し、主体的・創造的・協同的に取り組む態度を養い、人とかかわり課題を自分事としてとらえ、行動できる力の育成を目指している。研究主題を「未来を創る」とし、地域・社会と主体的に関わり、多面的に物事を考える活動の工夫と指導のあり方を研究している。

### 【1年生公開授業】単元名「みんなのために、今、できることとは」

生徒が企画した『一人暮らしの家訪問』についてゲストティーチャーからの助言を基に内容を整理して改善点をまとめる学習であった。ホワイトボードを活用しながら情報を整理・分析する姿が見られた。活動の計画・実践・改善を続けることで、ボランティア活動の意義や、地域と自分たちのかかわりについて、考えを深めていた。



### 【2年生公開授業】単元名 「はたらくことの意義とは」

一人一人が牧区の活性化に向けたアクションプランを提案した。ゲストティーチャーからは、アイデアへの賞賛とともにPRの仕方などのアドバイスがなされた。生徒同士の相互評価も丁寧になされたことでプランを多面的に見直すことができた。



### 【3年生公開授業】単元名 「これからの生き方とは」

「牧の将来に向けたプロジェクトプラン」について話し合いが行われた。環境作りや実施期間、そのプロジェクトによる波及効果、問題点など細かい点にまで言及していた。ゲストティーチャーからは、牧の現状を踏まえた助言や専門的な立場からの助言などをもらった。



### 【全体指導】上越教育大学大学院学校教育研究科教授 釜田 聡 氏

- 牧中学校では、地域社会との主体的な関わりに力点を置いている。多面的・多角的に物事を考える活動の工夫と指導のあり方をよく研究している。
- 「地域を軸に体験活動を意図的に取り組んでいる」「地域社会と主体的にかかわり、多面的に物事を考え、自ら未来を切り拓く力を育てている」「生徒の実態をよく分析し可視化して、そこから見えてくる教育課題に真正面から取り組んでいる」などが評価された。

## 4 研究の成果と課題

研究会後のアンケートでは、生徒の主体的な姿や生き方に関する称賛の声が多く見られた。また、その姿を可能にした教師の弛まぬ研修への情熱に敬意を表する感想も多かった。小中連携の観点からも有意義な研修の機会であった。